

第3回定例町議会

平成24年9月19日と20日の2日間にわたって「第3回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

一般質問

意向は伝えているのか実情を尋ねたい。

奥尻港湾用地内の店舗



奥尻港空き店舗の 公募・開店の動きは

制野 征男 議員



ら寄贈を受けて、新たな利用者募るべきだとの意向を町側に示している経緯がある。

奥尻港の土産店が閉鎖したままだが、町議会では、所有者の土産店の代表者か

今年度の観光シーズンもピークを過ぎたが、公募や開店の動きが見受けられないことから、所有者との接触及び寄付してほしいとの

法人と債権者との 解決後に検討したい

新村 卓実 町長

答弁

土産店の法人の代表者は個人破産をしているが、法人そのものは債権もあり、破産手続きをしていないので、結論として、港湾用地にある物件は法人の所有であり、売買でも賃貸でもお

金にできる可能性のものを、無償で行政に寄付すること

は好ましくないと、弁護士からアドバイスを受けている。

今後、代表者もしくは法人と債権者との間で解決の方向で進みましたら、代表者の意向も含め検討していきたい。

防災施設の改善と

今後の対応策は

制野 征男 議員

質問

北海道南西沖地震から19年が経過し、昨年の東北大地震の発生によって奥尻島の防災施設に関心が高まっている。

必要だと思うが、町はどのような認識でいるのかお聞きしたい。

▲避難路と表示板

しかし、太陽光を活用しての避難路と点滅する表示板は島内に42箇所あるものの1箇所も点滅していない実態があるが、いつまで放置するつもりか。
また、非常用の水・食糧などの確保の実態、さらに波対策の一環として海面からの高さを表示することは



答弁

表示板を整備してから15年が経過しているが、雷などの電磁波で基盤に故障が発生しており、今後の改良

今後のより良い改善策を考えている

新村 卓実 町長

策として、蓄光の塗料塗装を考えている。備蓄については、地域が分散され一括管理が難しい

議会運営委員会を開催

9月13日及び20日に開会された「議会運営委員会」の概要についてお知らせします。

■9月13日

9月19日に開会する「第3回奥尻町議会定例会」の議事運営について審議しました。

会期は19日から21日までの3日間とし、意見書については5意見書について各委員による提案とすることなどを決定しました。

■9月20日

9月20日に「決算審査特別委員会」に付託された案件の審議が終了したことから、会期の繰上げを決定しました。

町長の目指す

完結型の医療体制は

制野 征男 議員

患者ニーズに応える
安全安心な医療提供を

質問

町長は、国保病院としては完結型の医療を目指すのが、現実の体制は、町長の目指す方向に移行していると認識しているか。

また、医師との協議で、離島における完結型医療を目指すのが町長の意向であると、明確に伝えているのか。

平成23年度決算での国保会計の医療費の動向からみての町長の見解を尋ねたい。

奥尻町国民健康保険病院



答弁

離島での完結型医療は前院長の提唱により、その方向性を支持してきたが突然退職され、全国的に医師不足の中奔走し、現院長をお迎えしました。

その際、現院長には奥尻の現状と要望は伝えており、努力してくれていると思う。

また、医療費の動向については、数値だけでは完結型医療か医療でないかは判断できず、当病院の国保会計における医療費の率は減少している現状だが、今後は患者のニーズに応える安心で安全な医療の提供を各医師に求めています。

新村 卓実 町長

議会は、町民みなさんと行政を結ぶパイプです。

ぼうちょう 議会は傍聴することができます

手続きは簡単

傍聴者名簿に住所、氏名を記入するだけ ☆★ 次の定例会は12月です。★★

荷捌き施設内の

畜養施設の活用を

制野 征男 議員



▲荷捌き施設内の畜養施設



施設を視察する総務産業
常任委員会 ▲

質問

土曜日にはイカ漁が休業
（※）することから、日曜
日に新鮮なイカの刺身を観
光客などに提供できない実
情にある。

それを、荷捌き施設内に
できた蓄養施設を活用する
ことで、イカ漁の休漁の体
制に対応できると考えるが
物理的に可能なのか。
また、活用できるとなれ
ば、観光産業の関係者や一
般町民にも歓迎されると思
うが、見解をお聞きしたい。

（※）価格の安定や乗組
員の休養及び市場休日に
合わせ、「北海道イカ釣
漁業協議会」において休
漁日が設けられており、
土曜日は操業できないこ
とになっている
（答弁より）

改修や管理が必要
規模的に対応は困難

新村 卓実 町長

答弁

荷捌き施設の活魚水槽で
イカ活魚を収容するには、
施設の改修や職員の管理が
必要となり、現在の漁協職
員では対応が困難だと考え
られる。
また、この施設を活用で

きれば皆さんに喜ばれると
認識しているが、活魚水槽
では他の魚種も利用されて
おり、施設の規模が小さい
ため対応ができないと思わ
れる。